



園だより

第7号

令和元年10月29日

駿河台大学第一幼稚園

園長 田所 恒子

危険を予測し回避する能力を育む

キンモクセイの花の香りが漂い、ハナミズキの葉が紅葉し始めて、秋の深まりを感じる季節となりました。急激に肌寒くなり、過日行われた真夏の運動会が遠い日のように思えます。

今年は、台風が相次いで接近し、記録的な大雨と暴風で各地に大きな被害をもたらしました。テレビで流れる被害の様子に本当に心が痛みます。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

特に台風19号は、関東を直撃する大型台風であったことから、電車やバスの計画運休、店舗の臨時休業などの対応がとられました。ご家庭でも水や食べ物や懐中電灯を購入したり、窓に目張りをしたりと台風への備えをされたのではないのでしょうか。子どもたちは、そんな大人の姿や、テレビや携帯などで頻繁に流れる台風の情報、激しい雨や風の音などから台風の恐ろしさを知り、どう対応していくかを子どもなりに感じたようです。台風明けの15日、子どもたちの間で台風の話題がたくさん飛び交っていました。

さて、学校教育には、「危険を予測し回避する能力を育む」ことをねらった「安全教育」という教育があります。本園でも、防犯や遊具の使い方など日常生活で起こる事件や事故に向けた「生活安全」、様々な交通場面における危険や安全に向けた「交通安全」、火災や地震をはじめ様々な災害発生時における危険とその対処に向けた「災害安全」などの安全指導や訓練を計画的に行っています。特に今月は、5日に不審者侵入を想定した防犯訓練を、14日に調布警察と警視庁騎馬隊の方々からいらしていただき交通安全指導を、26日にくすのき団地2号棟から火災が発生したことを想定して第一避難場所である中央公園（赤広場）に避難する訓練を行います。教職員は、様々な危険を想定した訓練を実施し、子どもたちに危険を予知し回避する能力を育てていきます。さらに、これらの訓練を通して、子どもたちを危険から回避するためにどのような指示や行動をとったらよいかという能力を教師自身も身につけていきます。

このような訓練で学んだ「危険を予測し回避する能力」をより確かな力とするために、日々の遊びや生活の中でも指導を行っていきます。例えば、鬼ごっこでも力一杯走りながら危険から身をかわす力を育みます。小さなけがもありますが、子どもたちは友達と一緒に元気いっぱい体を動かしながら、危険をさけ安全な過ごし方を身につけていきます。

また、日々の登降園時も道路の歩き方、渡り方をはじめ危険を回避して安全に行動できることを学ぶ貴重な機会となります。就学時健診を終えた年長児は、これから少しずつ小学校進学への期待を高めていきます。4月からは幼稚園とは異なり一人で学校に行かなくてはなりません。保護者の方は、是非今からお子さんと一緒に通学路を歩き、危険な場所や安全な行動の仕方を確認しておいてください。

私たちのまわりには、本当に危険がいっぱいです。大人が子どもたちを守るとともに、子どもたちに「危険を予知し回避する力」をしっかり育てていきましょう。



真夏日となった運動会では、国領小学校・第二小学校・第六中学校からお借りしたテントのおかげで誰一人体調を崩すことなく運動会を楽しむことができました。



放送や先生の話を聞き、防災頭巾を被りながら「㊦さない、㊦けない、㊦しゃべらない、㊦どらない」の約束を守って、真剣に避難訓練に参加しています。



初めてはさみを使う年少児は、開いたはさみを閉じて1回で紙を切る1発切りから、直線、曲線と順序をおいながら、はさみの安全な使い方を身に付けていきます。



園外保育では自然に触れるだけでなく、友達と並んで歩く、先生の見える所で遊ぶ、トイレには大人と行く等、園の外では勝手に行動すると危険が多いことを知り、安全な行動の仕方も身に付けていきます。